

wish

前橋市手をつなぐ育成会報

●●●ウィッシュ

ホームページアドレス <http://m-teotunagu.moo.jp/>メールアドレス info@m-teotunagu.moo.jp

携帯TEL 080-7744-4300



○発行所／前橋市手をつなぐ育成会 前橋市東上野町 459-1 前橋市立前橋特別支援学校内 ○発行人／塩崎政江 ○印刷所／マルエー印刷

小川新市長さんを迎え、みんなが前向きになった令和6年度総会（理事会）

令和6年5月28日（火）、前橋市総合福祉会館において、オンライン併用の総会を開催しました。畔上猛副会長の進行の元、今年度は「障害のあるなしにかかわらず共に生きるために、積極的に手をつなぎに出向きましょう」という方針が確認され、具体的な事業が計画されました。

また、前橋市手をつなぐ育成会のイメージキャラクターを描いてくださり、今年度は缶バッチのデザインも作ってくださった協力員の岡田高明氏に感謝状をお送りしました。

塩崎会長
あいさつ小川市長
あいさつ吉川教育長
あいさつ福島福祉部長
あいさつ南雲社会福祉
協議会会長
あいさつ司会の
畔上副会長

岡田高明氏がデザインした缶バッチ

前橋市手をつなぐ育成会 令和6年度 基本方針

1 障害のあるなしにかかわらず「共に生きる」社会を目指します

2011年に障害者基本法が改正され、総合支援法、虐待防止法など、障害者に関する法の整備が進みました。2013年に障害者差別解消法が成立し、本市においても「障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領」「学校における対応要領」が策定されました。2024年4月には一般の事業者にも合理的配慮が義務付けられるようになりました。

私たちは、単に障害のある方への差別をなくすことにとどまらず、市民が知的障害や発達障害のある方々のことを知り、理解し、その人らしさを認め、その人の力を活かそうと考え、行動してもらうことを願っています。全ての市民が、障害のある方への温かい心をよせていただけるよう、多様な啓発活動等を通して、共に生きていこうと取り組む社会の実現を目指します。

2 障害のある方の家族を支えます

乳幼児期、児童期、青年期、そして「親なき後」まで、障害のある方の家族は深刻な課題を抱えています。障害のある児童をどう育てたらよいか、卒業後はどうするかなど、子どもの成長と共に悩みも広がります。さらには、いじめ、不登校、ひきこもり、虐待、貧困、きょうだいや医療関係など、家族の悩みは多様です。一人で抱え込まず誰かと話すことができるよう、人と人とのつながりや仲間作りを進めます。また、少しでも不安が解消できるよう、国や県、市の政策や先進地の取組などについて知る研修の機会も設けます。毎月開催する「おしゃべり交流会」を初め、一人でも多くの保護者や支援者が知り合いになり、つながりが持てるような機会を作っていきます。そして、こうした課題の解決や改善に向けて会員の皆様の声を集めて配信したり、市行政へ伝えたりしていきます。

3 一人一人を大切にします

知的障害・発達障害のある方々の状況はそれぞれ異なり、思いや願い、感じ方も多様です。大切なのは一人一人のよさや可能性を活かし、好きなことや得意なことを伸ばす場面を広げ、その人らしい、その人に合った学び方・暮らし方ができる社会にすることです。障害のある方が地域の中で、楽しく自立した生活をしていくためには、自分に適した場を選び、自分で決められるように支援していくことが大切です。そのために、活動の場や職場、居住地など選択肢が広がるよう、関係者等に働きかけていきます。

障害者基本法第三条には「全ての障害者が、障害者でない者と等しく、基本的人権を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有する」とあります。この当たり前の基本理念が現実のものとなるよう、前橋市手をつなぐ育成会は、前橋市・前橋市教育委員会・前橋市社会福祉協議会・関係団体等としっかり連携しながら、障害のある方とその家族を支えていきます。

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

はじめに

令和6年度 事業計画

新型コロナが昨年5月に5類の感染症に変更されたこともあり、徐々に以前の行事を再開しつつあります。一定の感染対策は引き続き行いながら、対面形式ならではの良さを実感できるような行事を開催いたします。一方で、この数年で学んだオンライン併用の有用性等については、そのシステムは可能な範囲で維持し、より多くの方に大切な情報を届けるとともに、様々な交流のあり方を広げていけるような取組を行っていきます。

(1) 啓発事業

- ①会報の発行
年間3～4回を目標に発行 全会員及び関係機関に配布
各学校・施設の紹介や行政の動向等情報をお伝えします。
- ②インターネットの活用
ホームページ等にて本会の紹介や、障害のある方への教育・福祉等の様々な支援体制の現状等について、情報発信や情報交換を行います。
(ホームページアドレス) [http:// m-teotunagu.moo.jp/](http://m-teotunagu.moo.jp/)
(メールアドレス) info@m-teotunagu.moo.jp
- ③知的障害者福祉月間記念行事(福祉バレード)への参加
9/10(火)実施予定。今年度は幹事団体ではありませんが、積極的に協力して参加いたします。
- ④手をつなぐ作品展
市教育委員会生涯学習課、社会福祉協議会、みんなの店との共催。公民館行事等に併せて開催するなど、開催地域の要望をふまえながら、地元密着型スタイルでの開催を推進します。
◎オープニングフェスタ 6/22(土) 12:00～15:00
前橋市総合福祉会館インナースクエアにて開催(別紙参照)
- ⑤のびゆく子どもの集いへの参加 各地域で行われる行事に参加して、障害のある方の作品や、本会の活動を紹介します。
(5/12 桂萱地区 5/19 富士見地区 参加)

(2) 研修事業

- ①研修会等への参加・サテライト会場の設置と意見交換
・群馬県手をつなぐ育成会大会(太田大会) 8/2(金)
メイン会場は、平日の午後開催で、参加が難しい方が多いことが想定されますので、別の日に前橋市内のサテライト会場を設置して、多くの方にご覧いただくとともに、独自の交流も行えるような会場開催を目指します。
◎前橋サテライト会場 8/6(火) 10:00～12:00
・関東甲信越ブロック大会(新潟県) 9/28(土)
・全国大会(秋田県) 10/12(土)～13(日)
※各大会への参加を促し、先進地の取組等を学ぶ機会を持ちます。

②委託事業による研修等

- 県育成会「レクリエーション活動等推進事業」の受託開催
(今年度受託希望事業)
・ゆうあいサークル(親子体験活動) ・料理教室
・家族教室/親なきあと相談会

③地域生活勉強会

- ・地域生活を支えていくための社会資源の整備や制度づくりなどについて学び、意見交換を行います。
- ・中学校の特別支援学級の保護者向けの勉強会を開催し、高等特別支援学校や発達障害を受け入れている高校等の取り組みについて学ぶ機会をもちます。(夏休み中の平日開催で検討:教員への参加も呼びかけ)

④年金学習会

- 全育連のDVD及び資料を活用して、特別支援学校等での出前講座を行います。

(3) 団体等の活動費助成

- ①保護者会等活動助成・団体組織活動助成
本人たちの余暇活動(休日や夜間)や、各施設の保護者会・家族会活動の充実を目的に助成します。
- ②学校関係活動助成
前橋市特別支援教育主任会の活動への助成
市内特別支援学級・特別支援学校事業等への助成

(4) 関係機関・団体との連携、行政への要望活動

- 関係機関、自立支援協議会、施設・作業所保護者会等との連携を強化、意見交換や課題分析、ニーズの集約などを行い、必要に応じて市に対し意見要望等を行っていきます。(別紙:「意見・要望書」参照)

(5) 地域生活支援事業

- ①保護者会等交流会
施設・作業所保護者会、特別支援学校PTA等の交流会を開催します。
年2回程度の開催を目指します。
- ②障害福祉先進地域の施設見学等
・本年度4月に新設された「こころ」等への見学を予定
- ③権利擁護や相談支援体制を整備
- ④本人部会結成及び活動の支援
- ⑤群馬県知的障害児者生活サポート協会総合補償制度への加入促進
- ⑥おしゃべり交流会の開催
前橋市総合福祉会館にて月1回開催(概ね第2火曜日)
テーマを決めて共に学び、また日頃感じていることを、気軽に話して、共感できる時間を持ちます。
- ⑦本人レクリエーション(ボウリング大会等)
県生活サポート協会の支部支援活動助成を申請して実施します。

令和5年度 会計決算報告

1. 収入の部 (単位/円)

項目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	備考
繰越金	150,871	150,871	前年度より
会費	1,350,000	1,341,930	個人会員1028人、PTA団体会費42校
補助金等	627,000	627,000	市補助金43万2千、県育成会委託事業18万、県サポート協会1万5千
雑収入	1,000	49,305	行事参加費、寄附、利子等
特別会計繰入金収入	0	0	
計	2,128,871	2,169,106	

2. 支出の部 (単位/円)

項目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	備考
会報発行	250,000	290,034	年4回(印刷・郵送費)
保護者会等活動助成	210,000	263,000	光明園、たんぽぽ学園、アスト前橋、まほろ、サニースマーケットらいう、なかま、第1・2・3・大胡作業所、デイサービスセンター
学校関係活動助成	130,000	0	行事開催中止の為
団体組織の活動助成	180,000	100,000	前特同窓会、わの会、陸上クラブ
委託事業費	180,000	226,580	ゆうあいサークル、料理教室、家族教室
研修費	120,000	92,808	月刊誌「手をつなぐ」購読料、関プロ大会・県大会経費
地域生活支援事業	110,000	115,812	手をつなぐ作品展活動費、ボウリング大会
会議費	100,000	114,043	常任委員会議等
需用費	160,000	194,846	事務所家賃、光熱費、封筒、コピー用紙、インク代等
通信費	70,000	69,110	切手代、インターネット接続料、携帯電話利用料
交通費	250,000	245,600	常任委員の行動旅費
備品購入費	55,000	0	
負担金	278,000	275,000	県育成会、市社協会費、相談員連協会費
雑費	20,000	15,447	慶弔費等
予備費	5,871	0	
特別会計繰入金支出	10,000	10,000	地域生活支援事業準備金積立
計	2,128,871	2,012,280	

3. 差引残高 (次年度へ繰り越し)
収入 2,169,106 - 支出 2,012,280 = 差引残高 156,826

令和5年度 特別会計決算報告

1. 収入の部 (単位/円)

項目	金額	備考
繰越金	352,140	地域生活支援事業準備金
本会計繰入金収入	10,000	地域生活支援事業準備金積立
雑収入	2	利子
計	362,142	

2. 支出の部 (単位/円)

項目	金額	備考
本会計繰入金支出	0	
計	0	

3. 差引残高 (次年度へ繰り越し)
収入 362,142 - 支出 0 = 差引残高 362,142

令和6年度 会計予算

1. 収入の部 (単位/円)

項目	令和6年度予算額	備考
繰越金	156,826	前年度より
会費	1,350,000	個人会費、団体会費
補助金等	627,000	市補助金43万2千、県育成会委託事業18万、県サポート協会1万5千
雑収入	1,000	利子等
特別会計繰入金収入	0	
計	2,134,826	

2. 支出の部 (単位/円)

項目	令和6年度予算額	備考
会報発行	300,000	年4回(印刷・郵送費等)
保護者会等活動助成	270,000	申請により助成
学校関係活動助成	100,000	特別支援教育主任会等補助 特別支援学級・特別支援学校事業等助成
団体組織の活動助成	100,000	申請により助成
委託事業費	180,000	ゆうあいサークル、料理教室、家族教室
研修費	120,000	研修会、県大会参加費、地域生活勉強会等、「手をつなぐ」購読料
地域生活支援事業	120,000	手をつなぐ作品展活動費等、ボウリング大会
会議費	110,000	常任委員会議等
需用費	160,000	事務所家賃、光熱費、封筒、コピー用紙、インク代等
通信費	80,000	切手代、インターネット接続料、携帯電話利用料
交通費	250,000	常任委員の行動旅費
備品購入費	30,000	備品、修理費
負担金	278,000	県育成会、市社協、福祉パレード、相談員連協会費
雑費	20,000	慶弔費等
予備費	6,826	
特別会計繰入金支出	10,000	
計	2,134,826	

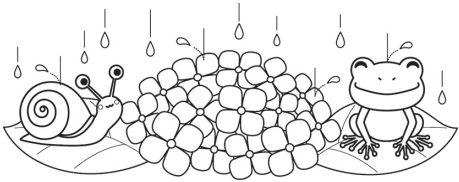
令和6年度 特別会計予算

1. 収入の部 (単位/円)

項目	金額	備考
繰越金	362,142	地域生活支援事業等準備金
本会計繰入金収入	10,000	地域生活支援事業等準備金積立
計	372,142	

2. 支出の部 (単位/円)

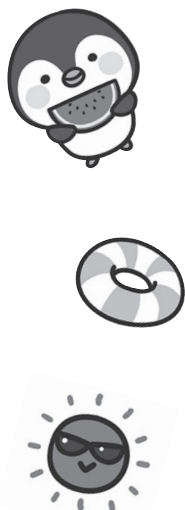
項目	金額	備考
本会計繰入金支出	0	
計	0	



令和6年度 前橋市手をつなぐ育成会 組織体制

本部役員

会 長	塩崎 政江	前 前橋市教育長
副会長	畔上 猛	前橋特別支援学校長
副会長	福田 隆一	特別支援教育担当校長
副会長	茂木 厚志	まほろ施設長
副会長	関口 純子	こころ保護者
常任理事	福田 浩	群大附属特別支援学校副校長
常任理事	箱田 光泰	光明園施設長
常任理事	今瀬 俊哉	前橋市社協障害福祉課長
常任理事	笠原 秀樹	みんなの店事務局長
常任理事	中山さち江	びいす保護者
常任理事	高原まちこ	わの会 代表代理
常任理事	井上 秀洋	元 県障害政策課長
常任理事	吉澤 守和	前橋市PTA連合会顧問
常任理事	片貝 優子	前橋特別支援学校教諭
事務局長	前川 知三	星の家管理者



顧 問	太田 隆也	元 会長
顧 問	原澤 正光	前 会長

監 事	飯島 琴美	かけはし職員
監 事	都丸 利子	恵の園支援者

事務局

事務局常任委員

事務局長	前川 知三	星の家管理者
特別補佐	佐藤 博之	元 市教育委員会教育長
書 記	丸山千恵子	アシスト前橋保護者
書 記	大島 佳織	麦わら屋保護者
会 計	阿部 尚子	なかま保護者
会 計	廣瀬 明美	とらっぱ保護者
委 員	高山 由貴	らいず保護者
委 員	高橋まさ子	スタジオファーガ保護者
委 員	柳澤 美樹	リーフ保護者

事務局協力員

協力員	石井 裕美	元市P連役員
協力員	石橋 満加	元市P連役員
協力員	井上千恵美	元市P連役員
協力員	入船 香織	元市P連役員
協力員	岡田 高明	歯科医師
協力員	小澤 幸信	元市P連役員
協力員	狩野 恭弘	市P連会長
協力員	北川 裕子	元PTA役員
協力員	小崎 昭一	元市生涯学習課長
協力員	小鮒 美幸	元市P連役員
協力員	塩原 大輔	市P連副会長
協力員	津久井春佳	元市P連役員
協力員	松本 英里	元市P連役員
協力員	三森 和也	市議
協力員	矢代 久美	元市P連役員





手をつなぐ作品展 スタートフェスタ

今年度の手をつなぐ作品展は、全公民館、市役所、第三・第五コミセンで開催します。そのスタートを盛り上げたいという願いから、初めて、6月22日（土）に前橋市総合福祉会館のインナースクエア等で「スタートフェスタ」という形でスタートしました。

前橋市社会福祉協議会や一般社団法人みんなの店、前橋市、前橋市教育委員会の共催をいただき、たくさんの団体に協力していただきました。特に「中之条町手をつなぐ育成会」の皆さんの作品と一緒に展示できたことは大きな繋がりです。また元総社中学校の生徒が作った玉ねぎの販売、あそか会や地域活動支援センターみやぎの方による販売、若葉高等学園、レオナルドダヴィンチ牧場、地域活動支援センターこころ、地域活動支援センターふじみの作品販売などで、たくさんの来場者に喜んでいただきました。ケービックス株式会社には来場者へのプレゼントもいただきました。オープニングは、ドラムサークルの演奏や「わの会」の皆さんの歌声で盛り上げていただきました。ワークショップでは、けん玉やフリスビー作り、折り紙やバルーンアート、点字体験、ドラムサークルなど、子どもから大人まで誰でも参加できた楽しい時間でした。

この後、障害者の作品は19か所に移動して行きます。お近くの場所に伺った時には、ぜひご覧ください。

参加者の声

○中之条町手をつなぐ育成会

音楽あり、絵画があり、ワークショップありの素晴らしいスタートフェスタでした。中之条でも参考にさせていただきたいと思います。一緒に手をつなぐことができて本当に感謝です。（田村 妙子）

今日はとても楽しいイベントに参加させてもらい、うれしかったです。点字の体験は初めてでした。（田村 翠）

○前橋市立元総社中学校

市長さんや教育長さんなど、いろいろな方に自分たちが作った玉ねぎを買っていただいて、よい経験になりました。ありがとうございました。（3年 伊藤、木村、野中）

○色々なところに展示してもらえるのはとても嬉しい。（カレナイサボテン）

○こんなにたくさんの楽しいイベントがあり嬉しい。またこういうのがあったら参加したいです。（匿名）

○今日はボランティアとして参加させていただきました。一人一人の個性の光る作品や創作活動が見られ、充実した一日となりました。今後もこのような場に積極的に参加していきたいです。（群馬医療福祉大学 4年生）

○素敵な作品の数々、楽しい音楽や歌声にワクワクする気持ちでいっぱいになりました。手をつなぐ育成会のブースにも、たくさんの方々にお越しいただき、けん玉作りなどを一緒に楽しむことができました。一人一人個性豊かな作品が出来上がっていました。今日のスタートフェスタは、心に残るとても素晴らしい日になりました。

（協力員 石井裕美）



6月22日～ 7月 1日	前橋市総合福祉会館	11月 6日～11月18日	元総社公民館
7月 3日～ 7月 8日	第三コミュニティセンター	11月20日～12月 2日	清里公民館
7月10日～ 7月22日	中央公民館	12月 4日～12月16日	芳賀公民館
7月24日～ 8月 5日	下川淵公民館	12月18日～ 1月 6日	東公民館
8月 7日～ 8月19日	第五コミュニティセンター	1月 8日～ 1月14日	南橋公民館
8月21日～ 9月 8日	上川淵公民館	1月16日～ 1月28日	宮城公民館
9月10日～ 9月16日	市役所1階	1月30日～ 2月11日	総社公民館
9月18日～ 9月30日	桂萱公民館	2月13日～ 2月25日	富士見公民館
10月 2日～10月14日	永明公民館	2月27日～ 3月11日	粕川公民館
10月16日～11月 4日	大胡公民館	3月13日～ 3月25日	城南公民館



5月12日(日)

「桂萱地区のびゆくこどものつどい」への参加

協力員の津久井さんの声掛けで、桂萱地区ののびゆくこどものつどいに参加しました。すごくたくさん子どもたちが来てくれて、準備した紙コップや紙皿80枚は、あっという間に品切れになり、追加購入したほどでした。母の日にちなんだ「絵はがきづくり」も好評でした。となりの赤城野荘さんと交流しながら一緒に楽しみました。



5月19日(日)

「富士見地区のびゆくこどものつどい」への参加

去年もお世話になった富士見地区に、今年も参加することができました。協力員の小澤さんからいただいたお菓子を、けん玉やフリスビーを作ったお友達にプレゼンしたら、とても喜んでくれました。ベーカリー「なかま」のクッキーは「すごくおいしい!」と評判で、すぐに完売しました。販売してくれた皆さん、購入してくださった皆さん、ありがとうございました。



6月おしゃべり 交流会報告



前橋市障害福祉課の皆さんと懇談させていただきました

今年も6月のおしゃべり交流会は、恒例の前橋市障害福祉課の皆さんとの懇談会として、6/11(火)前橋市総合福祉会館にて開催、田村課長さんや4名の係長さんにご出席いただき、市の障害福祉について意見交換をさせていただきました。

新市長に交代されたこともあり、本会がこれまでに提出してきた「意見・要望書」を、あらためて再編したものを市長にお届けし、当事者の皆さんが感じている課題について、できる限り詳しくお伝えしたいと現在準備しているところで

す。その中の障害福祉分野に関わることについて、あらかじめ障害福祉課にお届けし、その内容について、ご確認・ご検討いただいたうえで、今回の懇談を実行させていただきました。

すべての項目にわたって意見交換をしていくには、時間的に足りなかったこともあり、特に注目が高い「あんしんネット前橋」(地域生活支援拠点)についての要望等を中心に、親たちが日頃抱えている緊急事態発生時の不安等について、率直な思いをお伝えし、それを障害福祉課のみなさんに受け留めていただきながら、その上で現状の説明や、課題解消に向けた方向性等についてご意見を聴かせていただきました。

日々の暮らしの中で、切実な不満や不安はまだありますが、親としての本心に率直な「生の声」をお伝えすることができた様に思います。そしてそういった声を、障害福祉行政に携わる皆さんに、大変真摯に受け止めていただけた様に感じました。

今後ともこういった機会を重ねながら、一緒に暮らしやすい街づくりをしていくという意識で、行政の皆様と協働できる関係を深めていきたいと思ひます。

